

人間工学に基づき設計

Microsoft® Arc™ Keyboard



Microsoft Arc Keyboard Black

メーカー希望小売価格 ¥5,700 (税別)

マイクロソフト株式会社 0120-41-6755

http://www.microsoft.com/japan/hardware/keyboard/arc_special/

今回見つけたアイテムは、「Microsoft Arc Keyboard」。このキーボードはスタイリッシュなデザインはもちろん、人間の身体能力にあわせて機械、設備を設計しようとするエルゴノミクス（人間工学）に基づき設計されたという。早速、マイクロソフト株式会社を訪ねた。

「Microsoft Arc Keyboardは黒と白、2色展開しています。白は日本限定色です。オフィスではもちろん、インテリアアイテムとしても存在するようデザインコンセプトがなされています。特徴的なのは、エルゴノミクスに基づい

た弓なりの立体的なカーブを描いている形状です。この特殊な形状にすることで、一般的なストレートキーボードと比べ、手首、ひじ、肩の窮屈な状態を開放し、手の平と指の位置をより自然に保ちます。このカーブは研究を重ねられたもので、ストレートキーボードに慣れてしまっている方が急に曲線的なキーボードに触ると、打ちづらかったりストレスがかかってしまい、逆に使いづらいと感じてしまうんです。そこで、ストレートキーボードを使っている方でも、違和感なく使えるよう、ゆるやかなカーブにしました」と語る、リーテルビジネス事業部SD A マーケティング部プロダクトマネージャの島田真有美さん。

デスクの場所を取らないコンパクトでスタイリッシュなデザインなのが嬉しい上に、エルゴノミクスに基づいたデザイン設計というのが実用性の高さを感ぜさせる。実は、マイクロソフトのマウス、キーボードは全てエルゴノミクスに基づいて設計されているのだ。

「マイクロソフトはOSのWindowsやソフトウェアOfficeなどの会社だと思われがちで、その通りなのですが、ユーザーインターフェイスの会社という側面も

ありまして、コンピューターと人どう繋ぐか？ ということをいつも考えています。その一つのファクトとして、エルゴノミクスに基づいて設計されたキーボードやマウスがあります。キーボードとマウス専門のエルゴノミスト（人間工学博士）が社員として在籍しており、キー配列はもちろん、キーボードを押す力、クリック感、色、触り心地などにいたるまで、トータルで研究しています」とも語る島田さん。

以前からMicrosoftでは、究極にエルゴノミクスに基づいたキーボードを発売しており、それは、右手と左手、指の長さ、動きに合わせて、キーの大きさもそれぞれ異なっているという。実物を見せただけだと、通常のキーボードに慣れている人間としては、驚くくらいのカーブを描いた形状。実際に使ってみると、通常のキーボードとは逆で、手首の方が高く、指先の方が低い構造になっているので手首を置くだけで良く、余計な力を入れる必要がないのでとても楽なのだが、慣れていないためかタイプしづらさが慣れると手放せなくなりそうな印象。実際、発売された2005年には、キーボードの全米売り上げNo.1になっ

た商品で、島田さんも手放せないアイテムだと言う。

「本社の調査では、ストレートキーボードに慣れた方が、この究極にエルゴノミクスに基づいたキーボードを使うと、慣れるまでに2時間から2週間の時間がかかるという結果が出てまして、すべての人にはオススメしづらいんです。なので、先ほど申し上げましたように、すべての人に向けて開発されたMicrosoft Arc Keyboardは、研究を重ね、慣れを矯正し過ぎることなく、エルゴノミクスに基づき、デザイン性と使いやすさを追求したコンパクトキーボードなんです」とも語る島田さん。

PCとの接続もドライバレス。トランシーバーをUSBポートに挿すだけで接続設定が完了。挿せば繋がるので、パソコンを複数台使う人でも、一つのキーボードを簡単に繋ぎ変えてで作業が可能というのも嬉しい。もちろん、Macにも対応。

コンパクトでスタイリッシュ、そしてすぐに馴染めるエルゴノミクスデザイン。Microsoft Arc Keyboardは、パソコンライフをスタイリッシュに、そして自然とヘルシーにしてくれるアイテムなのかもしれない。